

女性研究者グローバルエンカレッジ

(実施期間：平成19～21年度)

実施機関：独立行政法人産業技術総合研究所（代表者：野間口 有）

課題の概要

組織を超えた女性研究者支援を実現するためのコンソーシアムオフィスを立ち上げ、その下で、「研究実績を積み重ねる意欲をエンカレッジするための支援(意欲触発支援)」「育児や介護中においてもその意欲を実現するための支援(実践支援)」を行う。意欲触発支援として具体的事例と結びついた「女性研究者のマルチロードマップ」を作成するとともに、「キャリアアドバイザーとの会合」や「ロールモデルとの交流会」などを通じて、各自の様々な状況に応じた将来の見通しを高める支援を行う。キャリアアップに重要な経験を実践する支援としては、「出張先ベビーシッター、出張時留守宅介護サービス」「保育施設つき留学先紹介」などの制度を充実させ、非日常的なステップアップの機会を逃さないための支援を強化する。オフィスには、専任のキャリアアドバイザー、および、情報システム担当者を置き、キャリアアドバイスに必要な情報の収集・データベース化・公開までを一連の流れとして行う。

(1) 総合評価（所期の計画を超えた取組が行われている）

ミッションステートメントでの数値目標はいずれも達成されている。組織トップ主導の全所的な取組により職務制度改革や意識改革等の一層の進展がなされ、システム改革の成果により女性研究者採用が画期的に促進されたことは高く評価できる。地方に分散する本機関の研究センターのみならず、大学・研究機関も参画した独自の特徴的な取組であるコンソーシアムオフィスの構築等を行い、有効に機能させることにより大きな波及効果をもたらしたことは特筆に値する。事業終了後も確固とした支援体制が継続されており、コンソーシアムオフィスの継続性・発展性も確保されている。今後とも、自機関での取組を進めるとともに、コンソーシアムを継続し他機関への良いモデルとなることを期待する。

<総合評価：S>

(2) 個別評価

①目標達成度

女性研究者支援のための組織を超えたコンソーシアムを構築し、予定数以上の参加機関を集め、各種施策を着実に実行し目標を達成した。また、本機関の女性研究者増の取組として、女性研究者採用比率の倍増目標についても、これを上回る結果を出したことは評価できる。今後は、意欲触発支援により、質的向上も含め、女性研究者による成果の一層の増大を期待する。

②システム改革の成果

これまでの裁量労働制や育児特別休暇制等の導入など女性研究者の研究と育児の両立支援、研究環境の整備に加え、理事長のリーダーシップによる全所的な取組により、職務制度改革や意識改革が促進されていることは評価できる。また、コンソーシアムオフィスの設置、内部評価システムの確立、キャリアカウンセラー・キャリアアドバイザー制度の整備等、意欲触発支援、実践支援が全国にまたがる研究所全体で展開されていることも評価できる。

③取組の妥当性・効率性

アンケート調査によって女性研究者の真のニーズを把握したうえで、具体的支援計画を策定し多くの成果を得てきたこと、取組結果の評価を行って改善につなぐ努力をしてきたこと、また、キャリアアドバイザーの配置に関しその育成から着手してきたことなどが評価できる。今後、内部評価の際には、研究そのものの厳正な評価との連動が行われることを期待する。

④波及効果

つくば地区を中心とした12の研究機関が参画したコンソーシアムの形成は独自の取組であり、他機関に大きな波及効果をもたらしたものと評価できる。近隣・遠方地域の大学・研究所等において組織を超えた共通の支援が可能となり、また、合同シンポジウムの開催、男女共同参画宣言などコンソーシアムとしての活動成果として展開するとともに、所内の取組が「茨城県子育て応援企業表彰」を受賞するなど、成果の所外への情報発信も積極的に行われていることは高く評価できる。全国に分散する研究拠点を統括し支援体制を確立するモデルとして、今後もその影響が大いに期待できる。

⑤実施体制の妥当性

理事長の主導により、「男女共同参画推進委員会」「男女共同参画室」を設置し、組織全体で取り組む体制を構築することにより本事業を推進してきていることは評価できる。実働の室員は正規職員（任期なし）を兼務で配すとともに、コンソーシアムの体制及び運営も概ね良好に行われた。

⑥実施期間終了後における取組の継続性・発展性

終了後もコンソーシアム体制やキャリアパス・登用支援策など確固とした支援体制が継続されるとともに、引き続き相当額の予算も計上されていることから、継続性・発展性が確保されていると評価できる。契約期間終了後の有期雇用者のキャリアパス等についても「イノベーションスクール制度」を通じて支援推進することを期待する。

(3) 評価結果

総合評価	目標達成度	システム改革の成果	取組の妥当性・効率性	波及効果	実施体制の妥当性	実施期間終了後における取組の継続性・発展性
S	a	a	a	s	a	a